

図書館長就任にあたって

図書館長 加藤 憲明



図書館長に就任して1ヵ月半が経ちます。館長になるまでは、一教員として本の貸し出しや、研究費で購入した本を取りに行くだけに過ぎませんでした。今は時間を見ては図書館に行くように努力していますが、授業の関係でなかなか時間が取れなくて行く回数が増えません。学部の学生だった頃、今の時代と違い、パソコン、スマートフォンがなく、授業がない空き時間は大抵図書館で過ごしていました。その時感じたことはものすごい数の本に囲まれていて、これだけの本を自分は読み、果たして知識を吸収できるかという思いでした。この感覚はどこでも、図書館に入ると今でも感じます。特に大きくて、古い図書館に入ると、その知識の宝庫に圧倒されます。欧米の図書館や教会は、その雰囲気によって、またその雰囲気が好きで、何時間でもそこにいたいと思います。

図書館は今、学生が本を借り、読む場所だけではなく、主体的に何かに取り組むための活動の空間に変わりつつあります。Active Learning や Learning Commons と呼ばれる言葉に代表される空間です。

本学の図書館は、大学の規模の割にいい図書館だと思います。図書館だより「SAKUらいぶ」にも書きましたが、試験対策やレポート作成の時だけではなく、図書館に立ち寄り、自分を見つめる時間を作ってください。紙の本と対話してください。やさしい司書の人たちが日々皆さんを見守っています。宝の持ち腐れにならないよう、図書館に来てください。



余りでした。講話中ではもちろん私語などなく、なぜか毎回、しんみり、かつゆつたりとした、そしてなごやかな、いい講話会になります。先輩教師たちも、不思議な安心感に包まれます。今回もそうでしたが、本学の卒業生ではない現役教師の方に、縁あって登壇していただくこともありますが、この安心感に変わりはありません。あの学生が、「去年も参加したけれど、今回も良かった」と言っていました。先輩教師の方々は、教育実習に向けてのアドバイスを聞くだけでなく、免許取得まで、あるいは採用試験合格までの迷いや不安、努力、社会人としての生き方など、いろいろ

5月10日(土)、本学教職課程恒例の先輩教師の講話会&交流会が行われました。今年で22回目となります。今回、参加する予定であった先輩教師3名が、所要により急きよ

欠席との連絡があり、主催する側としては焦りましたが、メールなどを通して参加を呼びかけ、3名が加わり、6名の先輩教師の参加となりました。今回登壇して下さった

方の中には、本学の大学院に入学して初めて採用試験に合格したという方や、子連れで参加し初めて講話された方などがおりましたが、時期的に運動部の大会引率などで参

加できない先輩教師が続出するという問題を、なかなかクリアできないでいます。結果的に経営学部の先輩教師が多数となりました。経営学部22年の伝統は貴重です。

講話会には、在学生が50名くらゐ、大学の先生方も10名ほどが参加し、はじめの1時間は、在校生による介護等体験や観察学習の報告、その後の先輩教師の講話は2時間

教職学生指導部会長 小林千枝子

22回目・先輩教師の講話会を終えて



作大・作短広報新聞

燦

KIRARI

6月6日

発行

作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908
電話 028-667-7111
FAX 028-667-7110

編集兼発行人 橋立 達夫
編集 作新PRIDEプロジェクトチーム

お電話相談窓口はこちら
大学・短大 TEL028-670-

総務課(総務関係・施設貸出)	3600
会計課(学納金・経費支払等)	3621
施設課(建物・施設管理)	3631
入試・広報課(受験相談・資料請求)	3655
教務課(定期試験・各種証明書発行)	3642
学生課(奨学金・学生生活相談)	3641
キャリア・就職支援課(求人検索・就職について)	3645
図書課(図書等の所蔵・貸し出し)	3652
学修支援室(学内ネットワーク・情報機器の管理)	3616
地域連携支援センター(大学付属研究所)	3614

HEADLINE

22回目・先輩教師の講話会	1頁
図書館長就任にあたって	1頁
短大施設見学会/ゼミ活動(前橋ゼミ)	2頁
文藝サークル連載	2頁
留学生交流会(2頁よりつづく)	2頁
新選野物語/経営学は古臭い!?	3頁
大学3年生になって/キャンパス散策	3頁
イベントスケジュール6・7月/編集後記	4頁

『2015 CAMPUS GUIDE』完成しました!

大学及び女子短期大学部の「2015 CAMPUS GUIDE (大学案内)」が完成しました!

資料請求は、お電話・ホームページで受付しております。

<http://www.sakushin-u.ac.jp/siryou/>
TEL 028-667-7111・FAX 028-667-7110



るなことが語られました。今回、小学校教員免許取得をめざす人間文化学部発達教育専攻の学生が、初めて観察学習の報告者として皆の前で話す機会をもちました。今や、小・中・高の教員免許取得を目指す学生たちが一堂に会するものとなり、また、本学の教職課程には、教育学部ではない一般学部であるがゆえの多様性がありますが、この会は、この多様性を共有し合える本学教職課程の良さを、象徴するもののように思います。

ホームページ アドレコ

<http://www.sakushin-u.ac.jp/>

大学3年生になって

人間文化学部3年 石川 瑛絵



今年度から情報センターの学生スタッフ(ISSA)として授業の空き時間にアルバイトをしています。応募のきっかけは、空き時間を「暇だな」と思っただけです。IISAとして空き時間を利用するほうが、時間を有効活用できること、パソコン活用の能力

アップになると考えました。また、大学生として勉強とアルバイトの両立は意外に大変なことから、お小遣い稼ぎも含めて大学内でアルバイトができる(空き時間にお小遣い稼ぎができる)というのが、2年間大学生活を楽しむ

参考には、後2年間しっかりと学び、後悔しないよう自分の進むべき道を見つきたいと思っています。



25年の歴史をもつ立派なキャンパスに成長した作新学院大学清原キャンパス、平成元年(1989年)開学記念樹として、国際化のシンボルであるマロニエ樹をこのキャンパスに植えていただくよう、当時の船田元先生にお願いしたところ、マロニエはフランスをはじめとする「国際的な樹」だと快く引き受けていただいた思い出があります。故船田譲先生の思い出の樹を日本にマロニエを普及させる会(マロニエ会)の名譽会長秩父宮妃殿下にお願い、青山御所で自ら育てられましたマロニエ赤をいただき移植しました。また、フランスをはじめとするヨーロッパのマロニエを会員の外国出張、商社及び海外企業の駐在員にお願いして、秋に実を拾い種をまき苗木を作り大学に移植しました。マロニエ白と赤の二種類がキャンパスのマロニエです。作大・マロニエキャンパスも25年、ヨーロッパ



キャンパス散策

第2回 作大・マロニエキャンパス四半世紀

日本にマロニエを普及させる会(マロニエ会)理事 相場啓介

追伸 栃木県出身マロニエ会会員は元栃木県知事渡辺文雄さんと本学理事長船田元先生になります。

有力大学キャンパスのシンボルマロニエと同じような遜色なく愛されることを望んでおります。作新学院大学も最近社会から高い評価を受け、今や国際交流の時代、世界の留学生がこの「作大・マロニエキャンパス」で学べる道が近づき、世界に羽ばたく時代がいよいよ到来したように思っています。夢のマロニエキャンパスに感謝をします。



イベントスケジュール

2014 6月



2014 7月

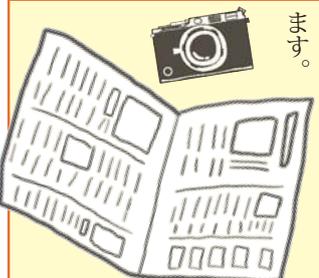


- 28日 大学 球技大会
- 25日 大学 研究会 第3回就職ガイダンス
- 21日 大学&短大 ワンデーキャンパス
- 17-24日 短大 就職ガイダンス(2年)
- 7日 大学&短大 サタデーキャンパス
- 5日 短大 就職ガイダンス(1年) 保育所長懇談会
- 4日 大学 第2回就職ガイダンス
- 2-13日 短大 幼稚園実習開始(2年)
- 30-9/24日 短大 夏季休業(1年)
- 28-8/8日 短大 保育実習(2年)
- 26日 短大 夏季休業(2年) 9/24
- 25-31日 大学 前期定期試験
- 24日 研究会 前期定期試験(2年) 25日
- 23-29日 短大 前期定期試験(1年)
- 21日 大学&短大 通常授業(祝日・海の日)
- 19日 大学&短大 サタデーキャンパス
- 16日 大学 第5回就職ガイダンス 教育実習報告会
- 9日 大学 第4回就職ガイダンス
- 5日 大学&短大 サタデーキャンパス
- 3日 短大 七夕祭り
- 1日 短大 就職ガイダンス(2年)

Q&A これ、知ってっか?

ことばの使い方
あるイベントの洋服売り場で、店員のAさんはお客のBさんに「申し訳ございませんが、こちらの商品はMサイズを切らしてあります。お色違いはこちらの方などいかがでしょうか」と対応しました。間違ではありませんが、お客さんに良い印象を与えることばを考えたみましょ。

答えはWebで <http://sakushin-uac.jp/answer/2014-6/>



今月は、初めて学生の投稿記事が載せることができました。文芸サークルが毎月、コラムを担当してくれそうです。まづぐりに関する連載記事もスタートします。今後は皆様からの投稿記事や写真も歓迎し、紙面をより楽しいものにして行きたいと考えております。是非ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

今月の燦(KIRARI)は、4ページです。「ついに」、「とうとう」、「やっと」、「ようやく」など、頭につける副詞はいろいろありますが、私たち編集スタッフの念願であったことはまちがいありません。これまで、大学の役職者による教育方針や学内の様々なイベントの報告などの記事が中心で、固くなりがちだった紙面を何とか変えていきたいと思っていました。今回は、初めて学生の投稿記事が載せることができました。文芸サークルが毎月、コラムを担当してくれそうです。まづぐりに関する連載記事もスタートします。今後は皆様からの投稿記事や写真も歓迎し、紙面をより楽しいものにして行きたいと考えております。是非ご協力をお願い申し上げます。